

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29(2017)・1220 NO61

校長 伊波喜一

「好きこそ」が 言うは易いが やり抜くは 不動の心 道を究めて

吉田 都(みやこ)さんといえば、バレリーナの最高位・プリンシパルを20年の長きにわたり務めたことで、有名です。体格の面でも言葉の面でもハンデがある中で、名門・英国ロイヤルバレエ団で活躍するのは並大抵の努力ではなかったはずですが、それでも、やり続けられたのは、本人の努力とそれ以上に、食事や学業、レッスンを陰で支えてくださったお陰だと言っています。バレエは管弦楽に合わせて踊ります。まるで曲芸のような身のこなしで、広い舞台を踊り切ります。過酷なトレーニングと集中力、意志の力なくしては、バレエという総合芸術は生まれません。吉田さんの踊りは、全編、踊る喜びに満ち溢れています。そして、繊細さの中に力強さが秘められています。曰く「顔の骨格などをコンプレックスと感じていたが、ありのままを生かすことが美しいことに気づいた」。それからは、人と比べて落ち込むのではなく、自分の歩みを比べるようになったそうです。未来の成功のために、今どれだけ努力出来るかが、自分にとっての正念場であることを、改めて実感しました。